



～みんなの一步が、まちの歴史～

【企画・編集】岩野田北まちづくり協議会
【発行日】令和 7 年 3 月 31 日

岩野田北まちづくり協議会 20 周年

岩野田北まちづくり協議会は、住民の皆さんの参画のもと、自治会や各種団体等が連携して地域のまちづくりを推進し、より良いまちを築き上げることを目指し、市内初のまちづくり協議会のモデル 3 地区の一つとして、平成 16 年 10 月 2 日に設立されました。これまでの主な歩みを紹介します。



●岩野田北まちづくり協議会誕生!!

市のモデル事業に手を挙げ、市内初のまちづくり協議会(3 地区)の一つとして誕生(初代会長・衣笠三男自治会連合会長)。設立総会には、中学生も参加しました。

●コミュニティコンサートの開催

公民館で「生の音楽を身近に!!」を合言葉に、年数回のコンサートを開始。令和 6 年に 20 周年を迎えました。市外から訪れる人も。

●夏まつりを開催

鳥羽川を舞台に夏まつりを開催。里山の竹を利用した灯りをともしなど、地域を再発見!! 現在は小学校を会場に開催し、多くの家族連れでにぎわいます。

●青色回転灯パトロールを開始

地域の安全を守るため、「子ども見守り隊」としてスタート。現在の青パトは 2 代目で、自治会・有志を中心に活動が展開されています。

●“ぐるっとバス”を運行

岩野田地区と運営協議会を設立し、コミュニティバスの運行を開始(初代会長・松久忠弘自治会連合会長)。

●ホームページとまちづくりサロンを開設

まちづくりを発信するとともに、情報の共有・蓄積・継承を目的に HP を開設。また、皆さんの意見・提言や課題などを気軽に話し合う、毎月定例のサロンをスタート。

●まちづくりビジョンを策定

地域の皆さんの意見をもとに、今後 10 年間を見据えた「岩野田北まちづくりビジョン～みんなで描く栗野の未来図～」を策定、皆さんと一緒に取り組んでいます。

●この指とまれ“あいさつ運動”を開始

まちづくりビジョンの「誰もが参加しやすいまちづくり」の一環として、“あいさつ運動”、“はるかのひまわり”(令和 5 年～)などをスタート。



まちづくりビジョンも HP に掲載しています。

2004
(平成 16 年)

2009
(平成 21 年)

2019
(令和元年)

2020
(令和 2 年)

2021
(令和 3 年)

●現在の主な取り組みは各ページを、今後の展望は 8 面をご覧ください。

命を守る 絆づくり

岩野田北公民館の防災講座をもとに、防災・災害時の対応を紹介します。

公民館で2度にわたる 防災講座

●10月28日の濃尾震災から133年…昨年10月29日、市の都市防災部による講座開催



30年以内に70～80%の確率で発生するとされる南海トラフの巨大地震。岐阜県全域が震度6弱から6強以上の揺れに見舞われると予想されます。また、岩野田北付近には、揖斐川～武儀川断層(濃尾断層帯)などの断層が確認されています。明日見舞われるかもしれない災害に備え、非常用持ち出し袋の準備、車中泊の危険、LINEの有効性、自助・共助の大切さなどを学びました。

●昨年6月29日、赤十字指導員による講座開催

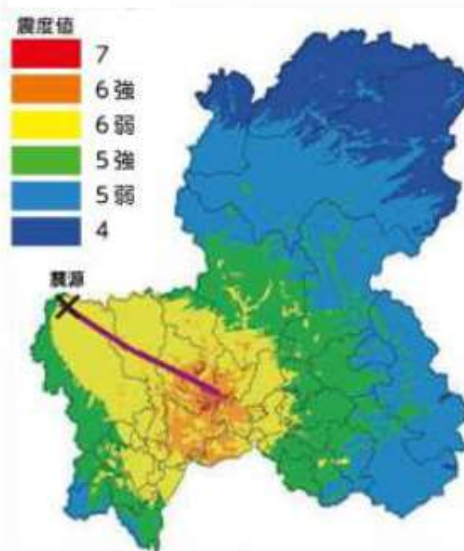
「家屋の耐震診断と補強」、「家具の転倒防止」、「普段食べているものをその都度買い足すローリングストック」などの防災対策について説明を受けるとともに、「断水時のトイレの作り方」について、実際にビニール袋を使って体験しました。



資料：清流の国ぎふ防災ノート



資料：地震調査研究推進本部



資料：清流の国ぎふ防災ノート

岩野田北付近の断層帯と想定震度
揖斐川～武儀川断層帯(濃尾断層帯)による内陸直下型地震が発生した場合、震度は6～7と言われ、甚大な被害が想定されています。

阪神・淡路大震災でも、能登半島地震でも 多くの人命を救ったのは、救助隊ではない

日ごろからの絆が、あなたの、私の命を救います。
あいさつを交わす関係づくりや自治会活動が基本と言えるでしょう。



▲自主防災隊(隊長は自治会連合会長)を中心に、コロナ禍で3年ぶりの岩野田北地区の防災訓練が行われました。【令和6年】



▲地震、ゲリラ豪雨など災害時の対応には、地域ぐるみの理解と参加、地域の絆が欠かせません。【令和元年】

阪神・淡路大震災で生き埋めや閉じ込められた人の救助主体



出典：「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」(公社)日本火災学会

3日間救援物資が届かない、断水・停電する …備蓄と非常用持ち出し袋の点検を定期的に行いましょう!!

★常に家庭に備蓄しておきたいものは？

- ①非常用持ち出し袋も含め、水や食料は1人3日以上、できれば1週間分を備蓄しましょう。保存食品を多めに用意する「ローリングストック法」(賞味期限が近いものから消費追加しておく方法)がおすすめ。
- ②家庭での長期避難生活に必要なものの例として、簡易トイレ(ゴミ袋も)、トイレトイレットペーパー、水の要らないシャンプー、卓上コンロ、カイロ、懐中電灯、電池、ラップなど。
- ③避難所生活に必要なものの例として、持病の薬、カイロ、歯ブラシ、当面の飲料水・非常食、マスクなど。

★避難所へ持参する非常用持ち出し袋に準備したいものは？

- ①薬、離乳食など自分や家族の状況に応じて、備蓄品の中から優先順位を付けて選択!!
- ②備蓄品と分けて、コンパクトに、すぐに持ち出せるようリュックへ!!
- ③免許証、身分証もコピーして入れておきたい!!
- ④スマホ用バッテリーはがあると便利。



※備蓄品・持ち出し袋に準備したいものの具体的なチェックリストについては、「岐阜市総合防災読本」のほか、日本赤十字社や消防庁のホームページを参考に、自分や家族(高齢者や幼児など)に必要なものを備えておきましょう。

なるほど!!・・・公民館の防災講座で学んだこと

- ①トイレ対策は欠かせません。凝固剤(ホームセンターで入手。新聞紙やおむつ、猫のトイレ材など吸水性のあるものも代用)を入れて、汚物を閉じ込めるように、袋を縛ります。上部の空き部分を再使用。
- ②トイレ自体がないときは、段ボールで自作。
- ③熊本地震では、車中泊によるエコノミー症候群の死亡例が、発生。歩くこと、テントや弾力性ストッキングも活用したい。



▲トイレ対策は欠かせない。

私とあなたの暮らす町だから感じていたい

♥スマホで見る栗野のホームページ



ホームページは、ノート型パソコンとスマホでの見方が異なります。ここでは、スマホでの見方について、紹介します。お試しください。



①右上の QR コードで、又は岩野田北まちづくり協議会 (<https://iwanodak-machi.sakura.ne.jp/wp/>) で検索します。



②左上の三本の横線をクリックし、一番下までスクロールすると、全体の目次が示されますので、クリックして入ります。

③トップ画面の丸窓の写真からも、主な記事にアクセスできます。

④直近の投稿記事は、トップ画面を下方にスクロールすると、日付順にみることができます。

⑤栗野の日常の記録は、④の投稿記事の下の「栗野・徒然日記」からご覧いただけます(バックナンバーは、下の方にスクロールすると目次が示されます)。

まちづくり 情報の

共有・ノウハウの蓄積など

空から栗野を探訪



▲空から栗野の町を拝見。走る“ぐるっとバス”や見守り隊の皆さんの活動も…

里の記録

ギャラリー、栗野・徒然日記など…眉山の四季も美しい



▲山笑う季節



広がるまちづくりの輪!!

無理なく参加できるまちづくり
…「この指とまれ運動」!!

最優秀賞2作品



優秀賞8作品



あいさつ運動

～まちづくりのはじめの一歩～

おはよう、おかえり
ひさしぶり、元気?

地域の絆づくりの始まり。防犯効果があるとも言われます。今年も、小学3年生の皆さんからポスターの力作が多数寄せられました。



・・・ふるさとへの息づかい

みんなが主役のステージ・栗野・・・皆さんからお寄せいただいた情報を紹介しています

三世代交流・地域の連携



▲地域ぐるみの協力による“夏まつり”や児童の“ちょこっとお助け隊”など

地域の皆さんの活動も



▲幼・小・中学校も連携して開催された公民館クラブ発表会や地域活動の数々

まちづくりビジョン全編



▲令和2年度に、栗野の町を良くするため、皆さんの意見をまとめたまちづくり指針

ここ数年で、宅地化が進み、景色が刻々と変化しています。移り変わる街並み、変わらぬ眉山、時代変化、日々の暮らし、まだ残されている日本の原風景などを記録にとどめ、まちづくりに生かせたら・・・



▲早苗田との競演



▲秋の暮れ



▲雪化粧



はるかのひまわり

～命と絆と防災のシンボル～

阪神・淡路大震災の被災地に芽生えたヒマワリを育て、命・防災・絆の大切さを伝える全国の「はるかのひまわり」プロジェクトに参加しています。

今年も希望者に種を、4月下旬に岩野田北公民館にて配布予定。



命を守る まちづくり

区画整理がされていない栗野。
狭い通学路など、生活道路の通過
交通は、地域の大きな課題です。



▲中学生の通学路。高齢者や児童にも危険な栗野台南交差点。

●特に交通量が多い東西道路(十六銀行グラウンドから栗野台団地南面道路)の現況

地域全般に通過交通が見られます。このうち当該道路は幹線道路化し、ひき逃げ事件も発生しています。昨年3月に自治会と住民有志で交通量調査を実施したところ、ラッシュ時ばかりか、昼間もひっきりなしに通過車両の走行が確認できました。子どもたちをはじめ、住民の生命を脅かしています。大きなテーマです。



▲中央にカラー舗装が施工されました。(昨年9月2日)

条件的に信号が設置できない交差点。さらに抜本的な解決及び当面の対策を講じていく必要があります。



Q. まちづくり協議会は、岐阜市住民自治基本条例(平成19年制定)に規定された組織です。地域が主体的なまちづくりを進めるための組織・機能と言えます。

自治会・公民館を核に、学校、各種団体やボランティア有志の皆さんが、知恵とエネルギーを出し合い、役割を分担し、地域ぐるみのまちづくりを目指しています。

【構成団体等】 岩野田北自治会連合会、岩野田北自主防災隊、社会福祉協議会岩野田北支部、岩野田北小学校、岩野田中学校、岩野田北公民館、北消防団岩野田分団、岩野田水防団、岩野田北地区民生委員・児童委員協議会、岐阜北地区交通安全協会岩野田北支部、岩野田北老人クラブ連合会、岩野田北青少年育成市民会議、岩野田北小学校PTA、岩野田中学校PTA、岩野田北子ども会育成会、赤十字奉仕団・岩野田北分団、岩野田北母子福祉会、岩野田北女性防火クラブ、岩野田北体育振興会、岩野田北スポーツ少年団、栗野共有林野保護組合、岩野田北公民館クラブ・サークル、ひまわりの会、住民有志(順不同)

●地域の“まちづくりの芽”を発見!!

地域の課題解決、資源の活用などを話し合ってみませんか?

まちづくりビジョンに掲げた目標のうち、地域が主体的に進める項目については、ほぼ着手しています。一方、土地地区画整理事業が行われていないことから、基盤整備など、行政との協働が必要な課題については、十分な進捗状況にあるとは言えません。地域で情報の共有を図りながら、課題解決に向けて、行政との協働に取り組む必要があります。住民の生命にかかわる通過交通や鳥羽川の活用、緑地の激減などなど。一方、地域の特性や資源を生かしたまちづくりも、地域はもとよりのこと、市の魅力の形成・向上に欠かせません。



見過ごしていませんか?“まちづくりの芽”は様々な分野に潜んでいます



※まちづくりにおける一般的な例です。【作成：岩野田北まちづくり協議会】

●地区カルテ作成のすすめ

班・単位自治会・自治会連合会など、地域の範囲ごとで“まちづくりの芽”について話し合ってみましょう。班単位の課題・資源もあれば、地域全体の共通の課題なども出てきます。話し合いの結果は、地区ごとにカルテとして、まとめておけば、次へとつながります。毎年実施する市への地域改善要望にも役立ちます。



●まちづくりサロンを開設しています

まちづくりの活動について情報を得たり、意見交換したりする「まちづくりサロン」を、毎月第3日曜日午前10時から、岩野田北公民館で開催しています。提案や課題など、お茶を飲みながら気軽に意見交換する場です。皆さんの参加をお待ちしています。



みんなで、次世代に誇りの持てる地域を!! これからのまちづくりを展望すると…

みんなが
主役

まちづくり協議会 20 年 まちづくり活動の未来を考える



まちづくり協議会制度の発足 20 年を機に、昨年、柴橋正直市長さんの基調講演及びシンポジウムが、ぎふメディアコスモスで開催されました(主催:岐阜市まちづくりサポートセンター)。市長、自治会連合会長、学識経験者の皆さんなどによる 2 時間半にわたる発表を聴講し、これからの私たちの地域のまちづくりを紐解きます。

【シンポジウムに参加して①】地域に一定のまちづくり の権限と財源を移す「都市内分権」の制度設計を…

市の都市内分権推進構想(平成 26 年)は、全 50 地区に法律に基づく協議会を前提としています。しかし、その後、法定の柳津協議会も任意のまちづくり協議会に移行しました。一方、現在、44 地区(全体の約 90%)に、まちづくり協議会が設置されている現状を踏まえ、法定の協議会にとられない都市内分権制度のあり方について、モデル実験が必要な時期と考えられます。

また、地域が市と協働を進める上で、構想に記された地域振興事務所の整備が望まれます。

【シンポジウムに参加して②】都市内分権制度の導入に向けて、市と地域が協 働でまちづくりを進める「エリアマネジメント」手法を…

地域のまちづくりビジョンは、地域の互助で達成できる目標が中心になっています。しかし、市と地域がともに地区のあるべき姿を描き、「多様な地域核のある都市」(岐阜市基本構想)を実現するためにお互いが役割分担する「エリアマネジメント」などの手法も、都市内分権の前段階として必要と考えられます。



▲報告書は、公民館
で閲覧できます

